

東北中央自動車道の利活用促進による 地域活性化協議会

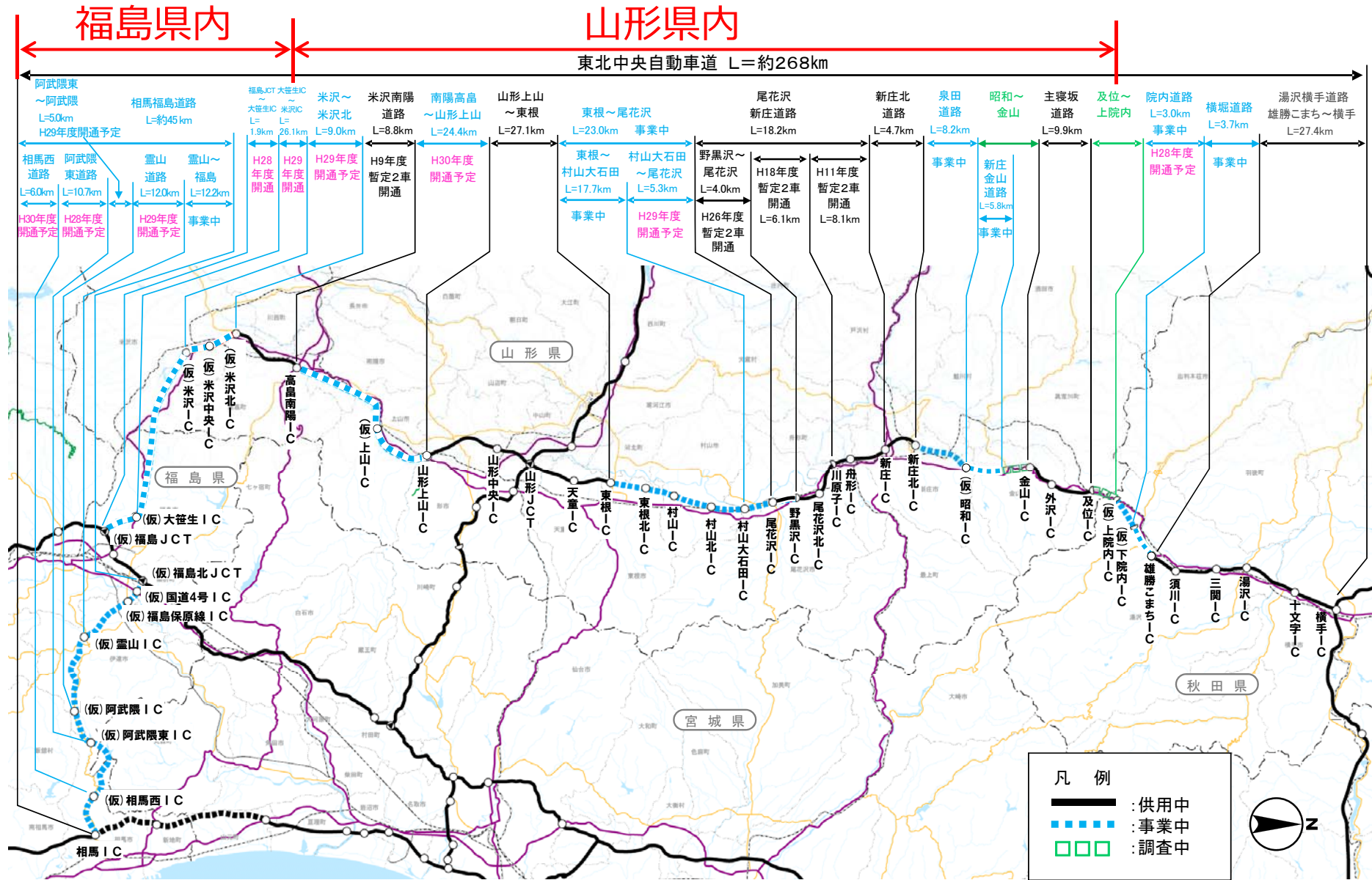
○東北中央自動車道の整備進捗状況と
開通により期待される効果

山形河川国道事務所

平成27年8月31日

1. 整備進捗状況について

東北中央自動車道開通予定



東北中央自動車道 工事進捗状況 (福島JCT付近)



東北中央自動車道 工事進捗状況（新栗子TN 福島側付近）



東北中央自動車道 工事進捗状況 (米沢北IC→福島方面)



至 南陽

東北中央自動車道 工事進捗状況（米沢IC→福島方面）



至 米沢北IC

H26.10撮影6

東北中央自動車道 工事進捗状況 米沢中央IC付近(福島→南陽方面)



至 南陽

米沢大橋

R
13

米沢中央IC

仮称 道の駅「よねざわ(仮称)」 予定地

東北中央自動車道

至
福島

至 福島

東北中央自動車道 工事進捗状況 米沢北IC(福島→南陽方面)



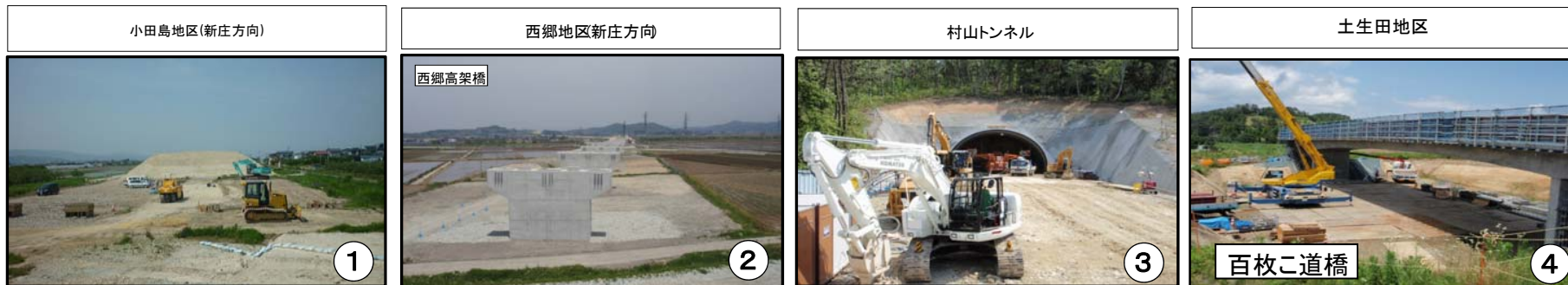
至 福島

H26.10撮影 8

東北中央自動車道(東根～尾花沢) 工事進捗状況

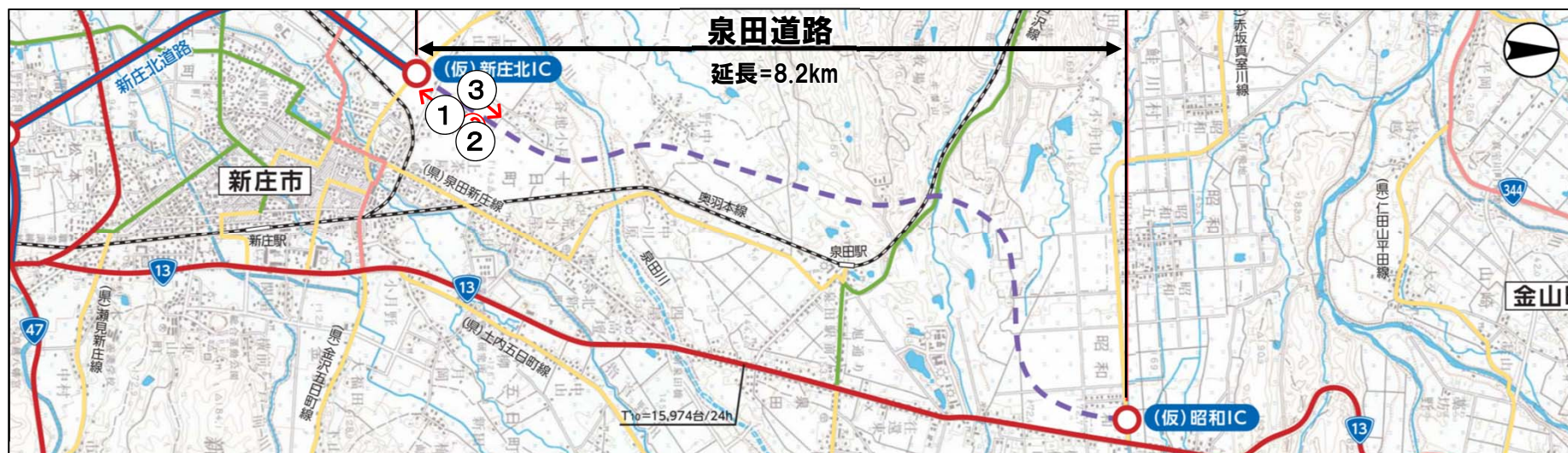
●東根IC～尾花沢IC間 (L=23.0km) **村山大石田～尾花沢間H29年度開通予定**

【工事履行状況 全体59%(用地99%)】



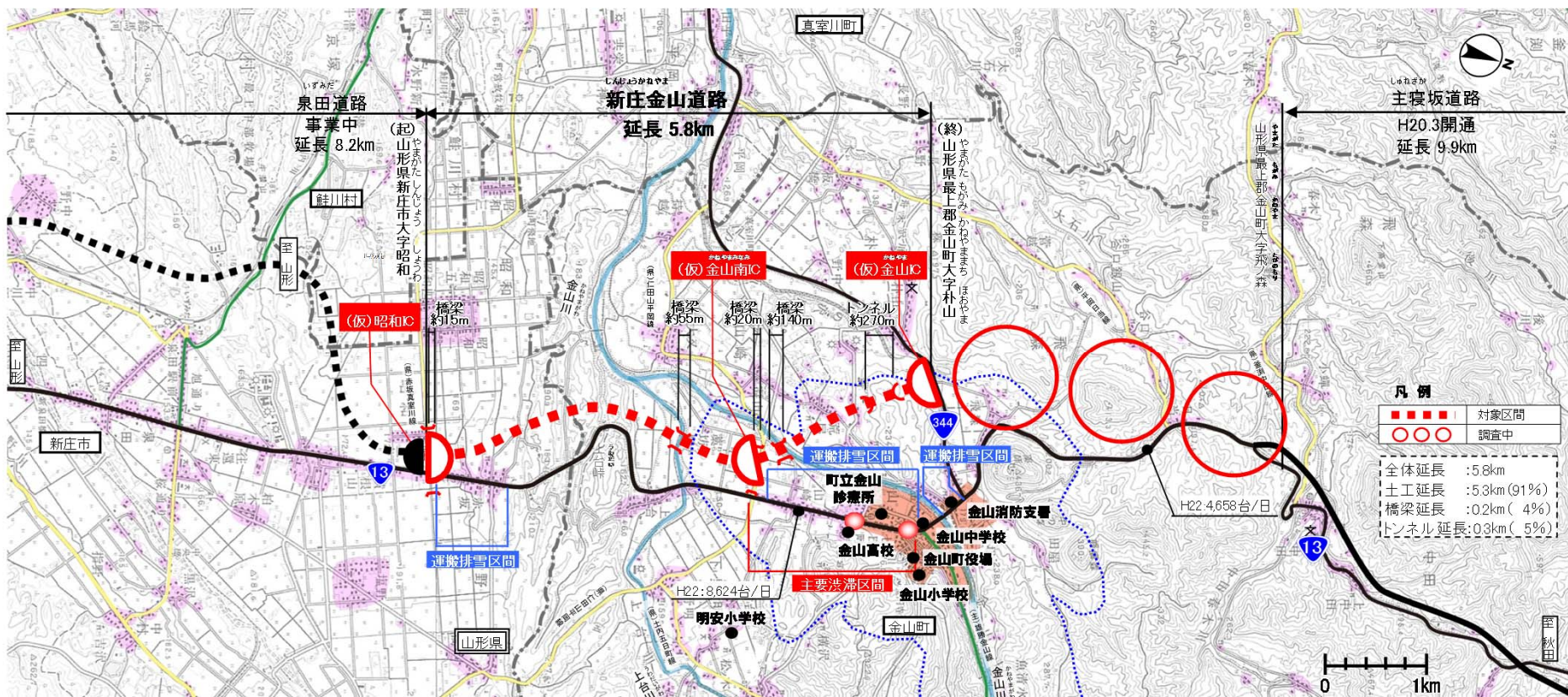
東北中央自動車道(新庄北～昭和) 工事進捗状況

●泉田道路 新庄北IC～昭和IC間 (L=8.2km) 【工事履行状況 全体8%(用地29%)】



東北中央自動車道(山形県内) 整備進捗状況 (4/4)

●新庄金山道路 (L=5.8km) 【道路設計、測量調査】



2. 開通により期待される効果について

【 目 次 】

1. 広域的な交通経路の選択が可能
2. 安全、安心、快適な通行の実現（福島～米沢間）
3. 地域経済支援
 - （①所要時間短縮による生産性向上）
 - （②企業の立地、地元雇用を創出）
 - （③林業の支援）
 - （④医療の支援）
4. 広域的な観光交流の実現
 - （①アクセス向上による交流人口の拡大）
5. 地場産品の輸送支援
 - （①ニラ）
 - （②デラウェア）
6. 高速道路を活かした地域づくり
 - （①尾道松江線による地場産業の拡大）
 - （②松山道によるマダイの出荷拡大）
 - （③日沿道による工業団地の規模拡大）
 - （④秋田道による広域観光ルート形成）

1. 広域的な交通経路の選択が可能

◆東北中央自動車道の整備により、縦軸(東北中央道、東北道、常磐道)及び横軸(東北中央道、山形道、仙台南部道路)との高速網が形成され、より広域的な交通経路の選択が可能

▼南東北エリアの高規格幹線道路整備状況



資料：国土交通省東北地方整備局、H22国勢調査

2. 安全、安心、快適な通行の実現

- ◆現栗子峠は、急勾配であり冬期間の6割が路面凍結積雪状態
- ◆東北中央道・栗子トンネル整備により、安全・安心な通過が可能に

通行止め年平均5回発生 (H16~26平均値。全止めのみ。発生要因は事故。大雨。雪スタックなど)
迂回時間2倍 (通常1時間⇒迂回2時間 ※市役所間)



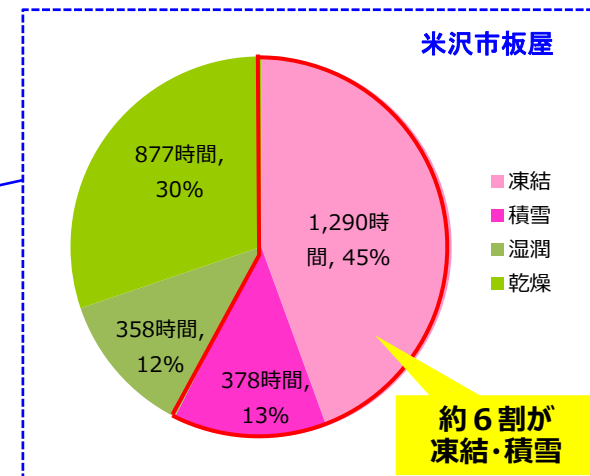
冬は年平均約140台のスタック車発生



トンネル部は大型車すれ違い困難



▼国道13号 冬期路面状況

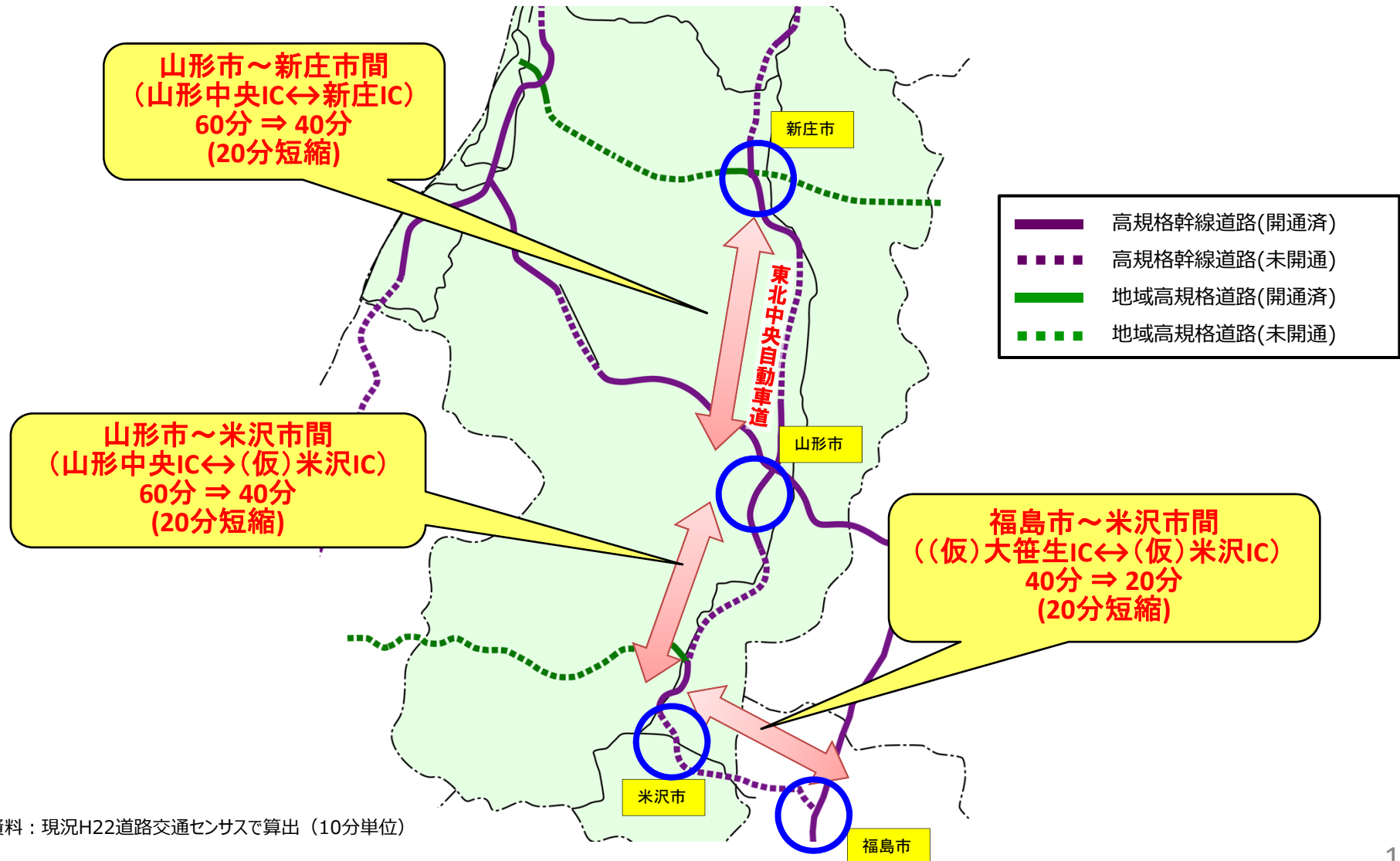


(H24.12~H25.3)

3. 地域経済支援（①所要時間短縮による生産性向上）

◆東北中央自動車道の整備により、移動時間の短縮、輸送費の低下、貨物取扱量の増加により生産性が向上

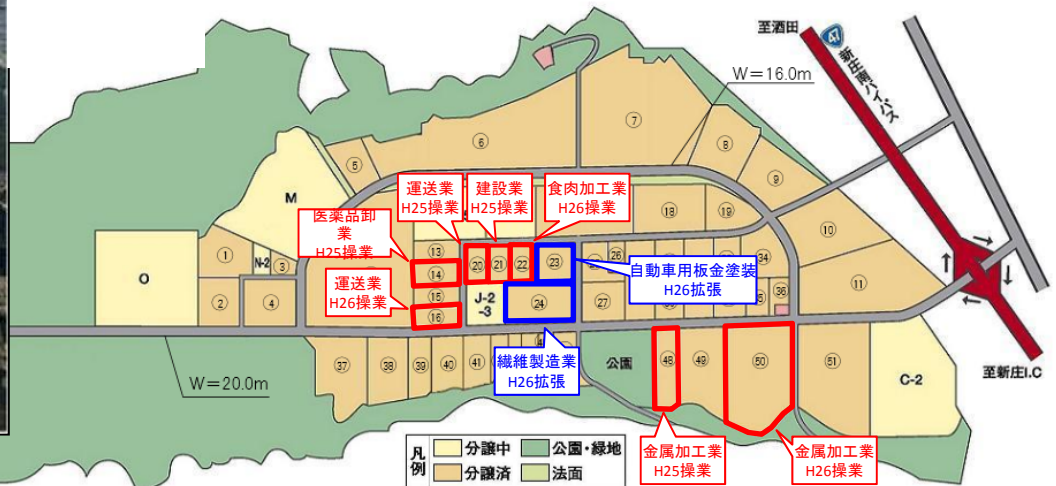
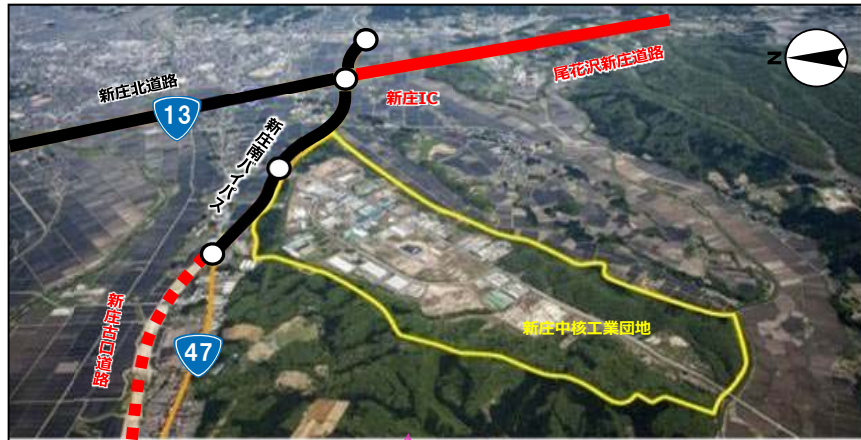
▼東北中央道利用による主要都市間の時間短縮状況(主要都市間)



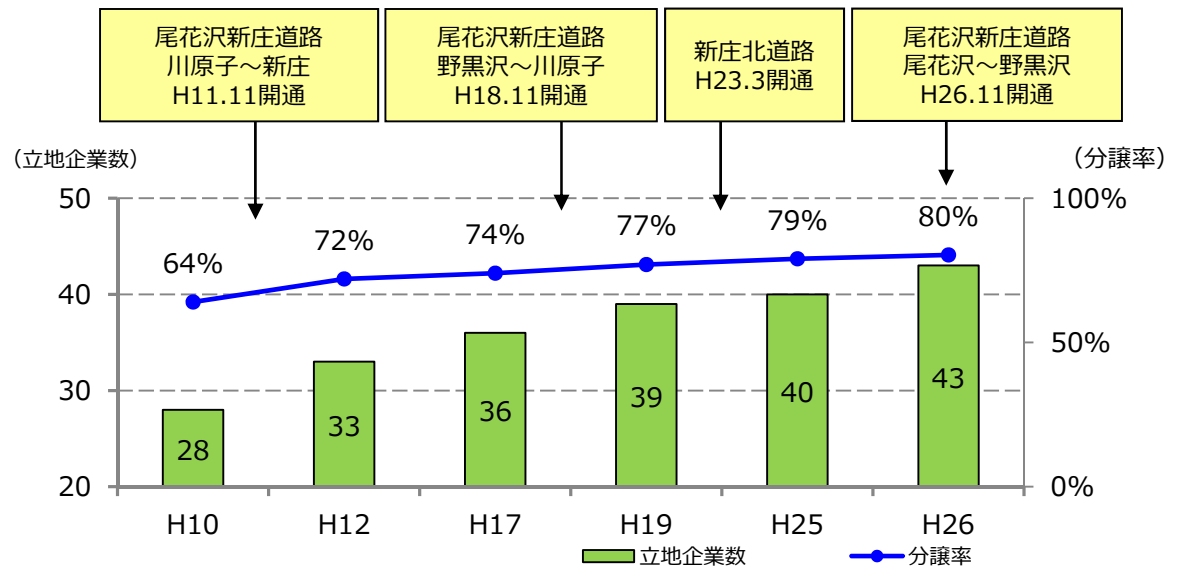
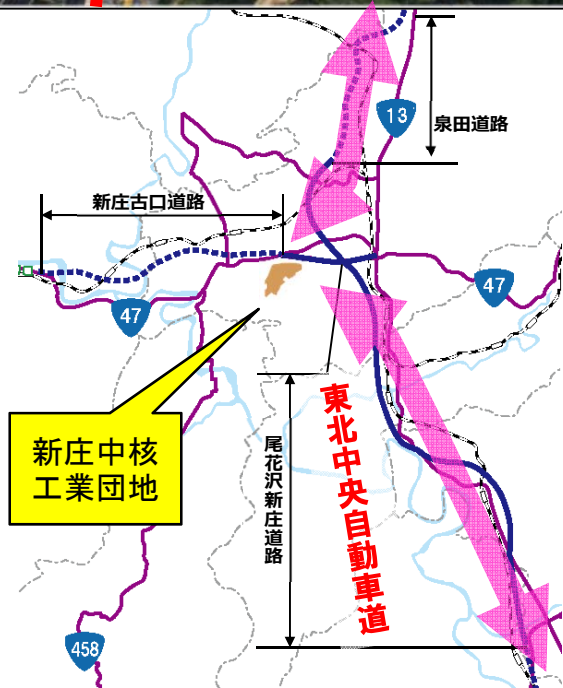
資料：現況H22道路交通センサスで算出（10分単位）

3. 地域経済支援 (②企業の立地、地元雇用を創出)

- ◆東北中央自動車道の整備により、新庄中核工業団地への企業進出が進む(H25: 4社、H26: 3社)
- ◆企業進出により、地元雇用を創出



【新庄中核工業団地の分譲状況】



資料：新庄市提供資料

3. 地域経済支援（②企業の立地、地元雇用を創出）

- ◆自動車用防振ゴムの世界トップメーカーが米沢市に進出
- ◆東北中央自動車道の整備によるアクセスの向上と輸送コスト縮減が、企業進出を後押し
- ◆地元から100人を雇用



自動車用防振ゴム 提供 住友理工(株)



3. 地域経済の支援 (③林業への支援)

- ◆東北中央自動車道の整備により、林業の成長産業化を支援
- ◆山形県では豊かな森林資源を有効活用し、地域活性化に活かす「やまがた森林(モリ)ノミクス」を推進
- ◆国産材製材大手「協和木材(株) (東京)」が新庄市に進出、森林資源の活用(原木消費量12万m³/年)と雇用の拡大(約60人)に寄与

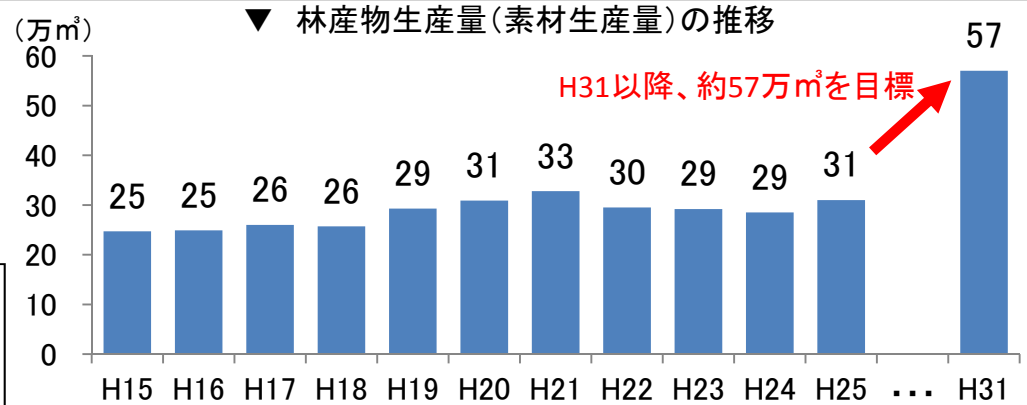


- 協和木材(株)新庄工場
- ・原木消費量 年間約12万m³
 - ・集成材出荷量 年間約3.6万m³
 - ・新規雇用 約60人
 - ・集成材工場:実施測量・用地造成、工場整備等 平成26~27年度
 - ・操業開始 平成28年度中



▲木材置き場の状況 資料:協和木材(株)HP

- (株)鶴岡バイオマス
- ・1,995kwの発電施設と、燃料の木材チップ製造工場を新たに整備
 - ・原木消費量 年間5万m³
 - ・チップ製造施設完成 平成27年3月
 - ・発電施設完成予定、試験的稼働、売電開始 平成27年秋頃
- ※チップは、新潟北部木材加工協同組合 鶴岡工場が納材



資料:[H15~H24]山形県統計年鑑、[H25~]山形県提供資料

3. 地域経済の支援 (④医療の支援)

- ◆東北初となる重粒子線がん治療施設を山形大学に整備
- ◆東北中央自動車道整備により、世界最先端の治療受診を支援
- ◆医療の高度化に加えて経済効果や地元雇用の促進も期待

東北地域は重粒子線がん治療の空白地帯

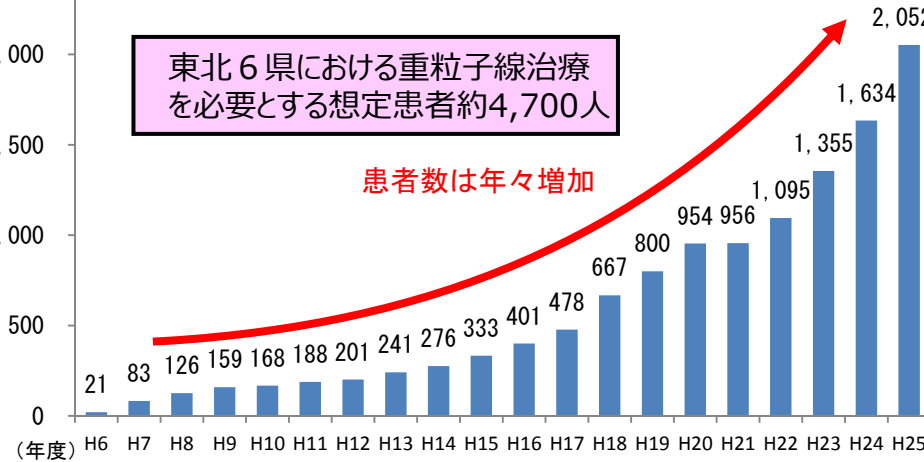
- 稼働中×4施設
- 建設中×1施設
- 計画中×3か所



(人)
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0

東北6県における重粒子線治療を必要とする想定患者約4,700人

患者数は年々増加



▲稼働4施設の重粒子線がん治療登録患者数の推移 資料：(独)放射線医学総合研究所

・医療収入、患者・家族、国内外からの視察の消費活動により年間63億円の経済効果
・年間約670人の地元雇用

東北・北海道で唯一の重粒子線がん治療施設となるため、東北各地から治療に来院

重粒子線がん治療施設H31.10診療開始

東北中央自動車道事業中

建設予定の重粒子線施設イメージと概要

次世代重粒子線照射装置

【世界最先端の山形モデル】
○敷地面積等の小型化
○総合病院接続型
※世界初、海外への売り込みも想定

資料：山形大学付属病院HPより

4. 広域的な観光交流の実現 (①アクセス向上による交流人口拡大)

- ◆山形県内には、観光・温泉など観光資源が豊富
- ◆東北中央自動車道の整備により、アクセスが向上され観光・交流人口拡大により観光振興を支援



山居倉庫/酒田市



羽黒山五重塔/鶴岡市



天童温泉/天童市



山寺/山形市



山形花笠祭り



最上公園/新庄市



銀山温泉/尾花沢市



山形空港/東根市



最上川船下り



日本一の芋煮会フェスティバル



蔵王温泉/山形市

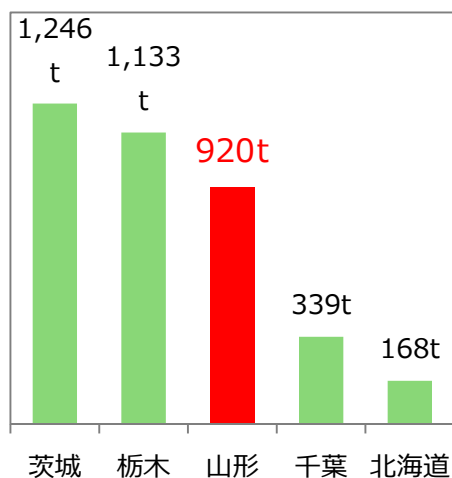


資料：山形県観光統計資料 (H25)

5. 地場産品の輸送支援（①ニラ）

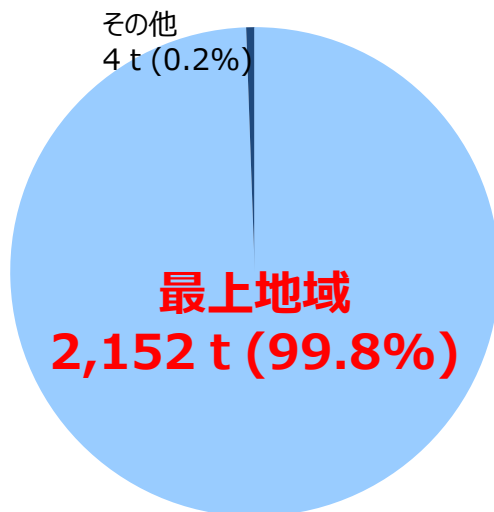
- ◆最上地域のニラ「達者de菜」は東京市場での取扱量**全国3位**
- ◆県内のニラはほとんど最上地域で栽培、新鮮なニラを短時間で市場へ輸送することが重要
- ◆東北中央自動車道の整備により、鮮度保持と定時性確保で農業振興を支援

【東京卸売市場における
ニラの取扱量】



資料：東京中央卸売市場
(H25.6~10計)

【山形県内のニラ出荷割合】 【ブランドニラ「達者de菜」】



資料：最上の農業
(H25)



資料：おいしい山形HP
広報かねやま
(2013.7)



・関東地方のスーパー等で販売
イトーヨーカドー、いなげや、生協など

市場には22時まで！
定時性が重要！

5. 地場産品の輸送支援（②デラウェア）

- ◆全国シェア50%以上を占める特産品のデラウェアは、3大都市圏への出荷割合が高い
- ◆東北中央自動車道の整備により、鮮度保持と定時性確保で農業振興を支援

▼南陽市の主な特産品



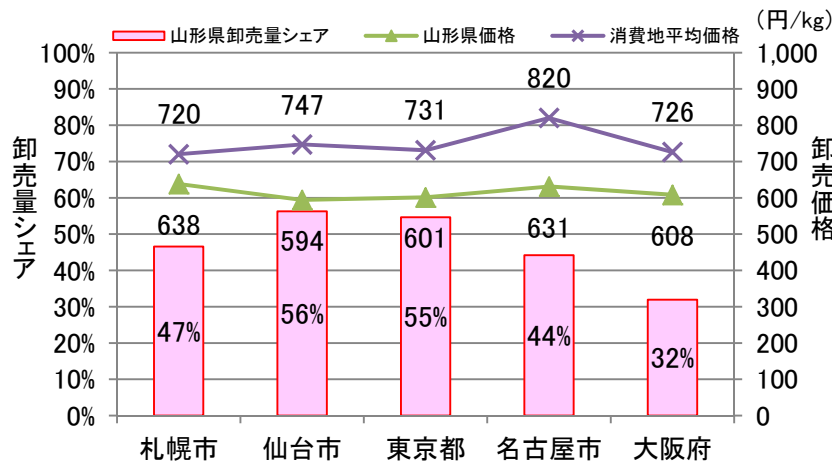
白竜湖からの蒸気によって良いブドウが育つ環境



周囲の山の斜面に広がるぶどう畑の景色は圧巻！



▼ぶどう(デラウェア)の主要消費地別・産地別卸売量・価格



資料：青果物産地別卸売統計（2013）

特産品の出荷状況(デラウェア)

山形県で生産されるデラウェアは全国シェアの50%以上を占める。南陽市は、山形県内でも特にデラウェアの生産が盛んな地域。3大都市圏への出荷量が多い。東京・名古屋の市場では、デラウェアの卸売量における5割以上をシェア、大阪市場でのシェアは3割。



■地域の声

- ・生産量日本一を誇るデラウェアは、首都圏に多く出荷しており、最盛期には置賜地域内の各集荷場から一日に2~3台のトラックで輸送している。
- ・決まった時間に市場に届けることが重要と認識しており、高規格道路が整備されることで、指定時間内に確実に農産物を届けられるようになる。

資料：JA山形おきたまヒアリング調査（H26.8.22）

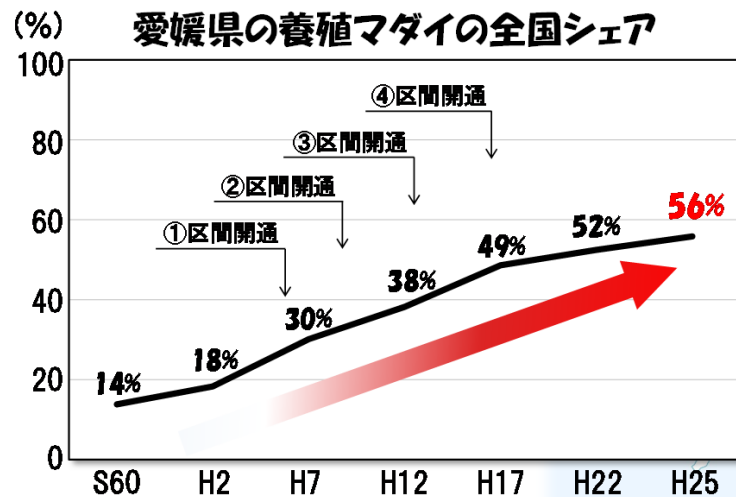
6. 高速道路を活かした地域づくり

高速道路を活かした産業活性化の取組事例
 (②松山道によるマダイの出荷拡大)

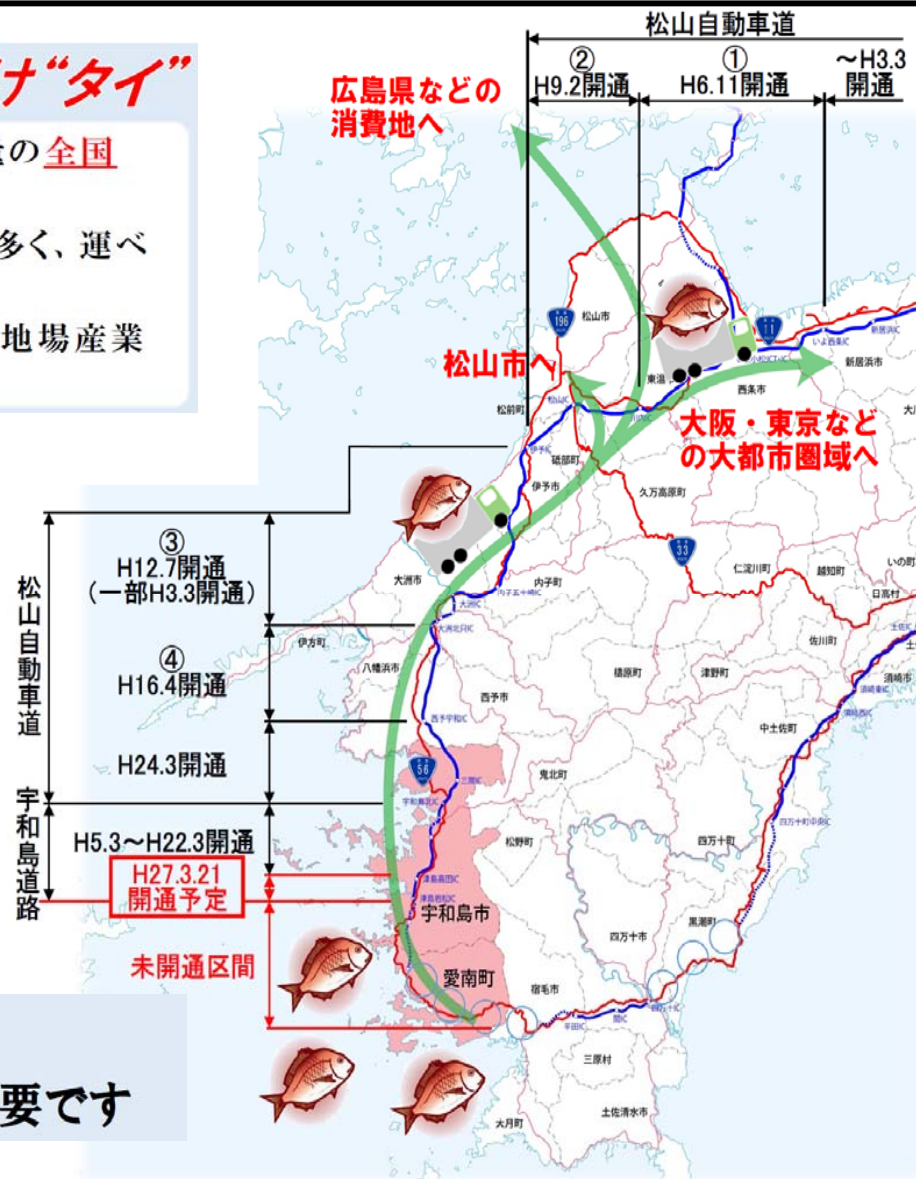
- ◆愛媛県伊予地域はマダイ養殖業が盛ん、**全国シェアは約6割**を占める
- ◆高速道路の整備につれて、消費地により早く、多く運べるようになる、**シェア拡大**、地場産業の発展に期待

新鮮なマダイをより多くの人に届け“タイ”

- 愛媛県南予地域はマダイ養殖業が盛んで、収穫量の**全国シェアは約6割**(宇和島市と愛南町で約5割)。
- 高速道路の整備につれて、消費地により早く、より多く、運べるようになり、**シェアが拡大**。
- 残る区間の整備により、地域特産品がブランド化、地場産業の**さらなる発展を期待**。



地域が地域の良さを活かし、
 どんどん発展していけるような「投資」が必要です



資料：国土交通省「道路のストック効果事例集」より

6. 高速道路を活かした地域づくり (③日沿道による工業団地の規模拡大)

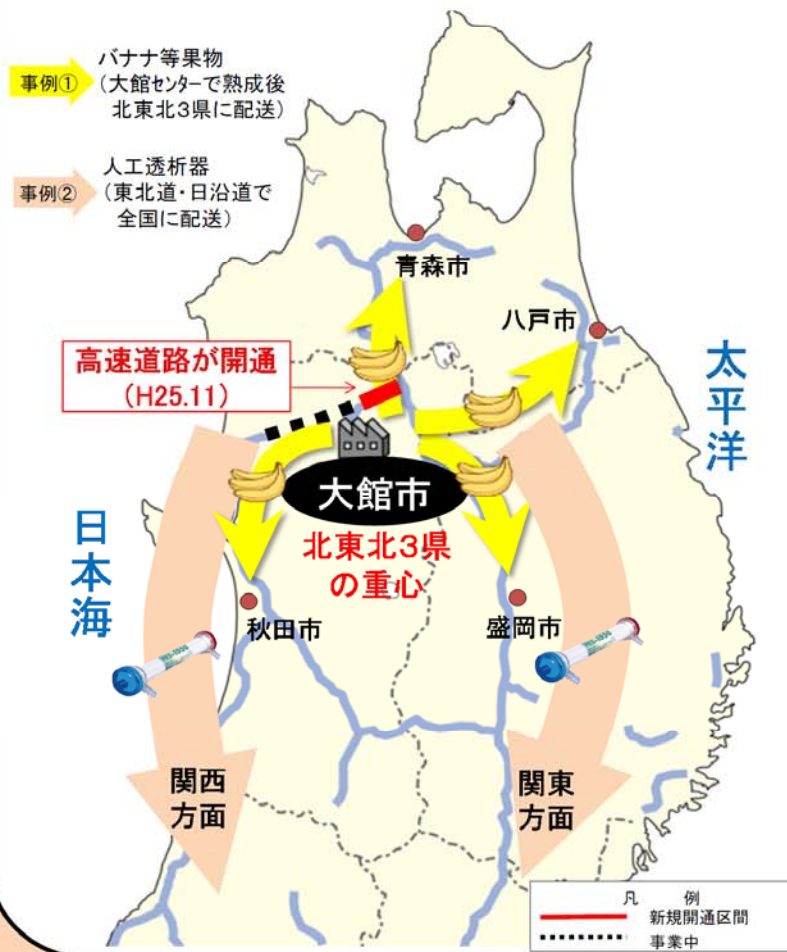
高速道路を活かした産業活性化の取組事例

(③日沿道による工業団地の規模拡大)

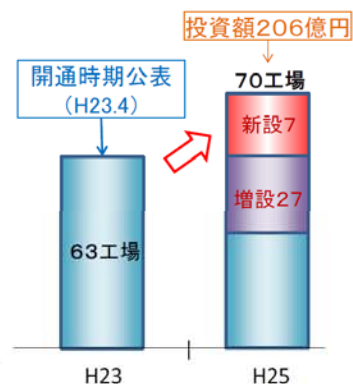
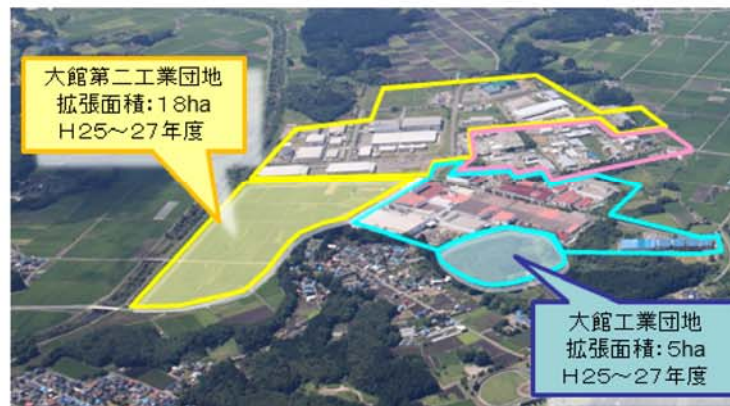
- ◆秋田県大館市は、高速道路の整備が進みにつれて、企業立地が進展、2年間で200億円以上の民間投資。
- ◆残る高速道路の開通を見越し、さらなる工業団地の拡張に期待

市制始まって以来の企業立地ラッシュ。2年間で200億円以上の民間投資。

残る区間の開通を見越して工業団地の拡張や新たな団地も造成中であり、つながれば更に大きな効果が得られるのは明らか



【大館市(二井田地区)工業団地】



こうした民間投資を呼び込み、地方が成長の恩恵に浴す効果的な「投資」こそ、いま求められています。

資料：国土交通省「道路のストック効果事例集」より

6. 高速道路を活かした地域づくり

高速道路を活かした産業活性化の取組事例
 (④秋田道による広域観光ルート形成)

- ◆秋田自動車道 大館北IC～小坂JCT(H25.11.30開通)
- ◆高規格ネットワークの形成により、周遊型観光ルートを形成

